

市政を問う！

一 般 質 問

学校へ早急なエアコン設置  
在宅介護施策の充実を

日本共産党知立市議団 牛野北斗議員



**問** 38度を超える災害級の猛暑が続く、児童生徒の健康が心配される。学校の熱中症対応は。

**答** 熱中症発生は今年3件あった。各校の判断で、保冷剤の携行許可やプール中止等に対応。

**問** 市民が3千筆超の陳情署名を市に提出。普通教室エアコン設置要望は強い。学校保健安全法は市の責任を明記。命に係る問題。早急に設置すべきでは。

**答** 市民の声を重く受け止めている。市は必要な施策、財政上の措置の責任があると認識。平成31年度中の全小中学校普通教室への設置完了に向け整備する。

**問** 介護離職防止は切実な課題。仕事と介護の両立支援マニュアルをホームページで発信するなどが必要。市の取り組み状況は。

**答** 重大な課題と認識。労働行政と協力して支援に取り組む。65歳未満の要介護者は市の



知立東小学校

高齢者宅配給食サービスが利用できない。2号被保険者であるため対象とすべきでは。

**答** 必要性は認めるが、高齢者事業のため見直しの考えはない。

**問** 投票権の保障のため移動困難者の外出支援は重要。介護タクシーの拡充や市独自の投票所送迎制度を実施すべきでは。

**答** 国の郵便投票制度の見直し議論を注視したい。ミニバスの運行も今後、研究する。

9月定例会では、14名の議員が一般質問を行いました。掲載文に関する文責は各議員にあり、内容に関するご意見やお問合せは議会事務局までご連絡ください。なお、質問の全文は、会議録や会議録映像ネット配信で閲覧することができます。

選挙の投票率を向上させる  
対策

立志会 山口義勝議員



**問** 投票率向上のために行った取り組みは。

**答** 広報ちりゅう、ホームページ、同報無線による周知、広報車による巡回活動、フェイスブック、「ちりゅうつび」のツイッターによる発信。また、市内の小中学校・高校から募集した啓発ポスターの優秀作品をミニバスの車内に掲示、高校において選挙出前トークで選挙の意義を伝えて模擬投票を実施、大型商業施設を会場に街頭啓発など選挙の啓発に努めた。

**問** 候補者の政策提言を伝える方法は。

**答** ポスター掲示場の設置、選挙公報の配布。

**問** 期日前投票を行う市民が増えてきたが状況は。

**答** 市役所のロビーで行っているが、長蛇の列ができ投票するまでに時間がかかる。施設の管

理上問題があると認識している。投票場所の検討、投票しやすい環境を整備すべきでは。

**答** セキュリティ面も含め、一定の広さの確保、選挙人名簿を照合できるネットワーク環境を備えた場所の選定等、行列をなす現状の解決策を検討したい。

知立市議会議員一般選挙(平成18年以降)

年	有権者数 (A)	投票者数 (B)	全体投票率 (B/A)	期日前投票者数 (C)	有権者に占める期日前投票者割合 (C/A)	投票者に占める期日前投票者割合 (C/B)
18	49,418	28,178	57.02%	3,582	7.25%	12.71%
22	51,096	27,965	54.73%	6,954	13.61%	24.87%
26	52,633	28,450	54.05%	7,115	13.52%	25.01%
30	55,120	27,429	49.76%	10,243	18.58%	37.34%

## 市手話言語条例について 保育園待機児童等について

立志会 永田起也 議員



**問** 手話が言語であるという認識に基づき、ろう者とうろう者以外の者が共生することのできる地域社会の実現を目指すことを目的とした知立市手話言語条例。その条例制定に向けて9月10日より1か月間パブリックコメントを行う。これまでの経緯と今後の取り組みは。

**答** 県の条例制定を受け、市障害者地域自立支援協議会のコミユニケーション部会にて協議を重ねてきた。12月定例会で上程し条例制定に向けて進めている。条例制定することにより今まで以上に手話の理解が深まる。早速担当職員から朝礼などで手話を取り入れて手話の環境づくりをしていきたい。

**問** 現在でも希望する保育所入園は困難をきたしている状況の中、今後の対応は。また全国的に保育士不足の中、保育士確保のための市の対策は。

**答** 9月時点で実質待機児童を含めると68名が待機児童となる。今後の対策として、子ども・子育て支援計画の中で、来迎寺・逢妻保育園で乳児園化を進め、枠を広げていく。保育士確保については、次年度採用のために各大学を回ったり、前年度に保育園実習制度の中で当市保育園を選定してもらおう等、保育士確保に努めている。

## 借地公園について 観光振興について

日本共産党知立市議員 佐藤修 議員



**問** 山屋敷町の富士塚ちびっ子広場の借地契約の期限が来ている。引き続き公園として使えるように対応すべきでは。

**答** 10年間の借地契約が今年度末で終わるが、地権者の意向もあり、10年契約とはならないかもしれないが引き続き使用できるように対応したい。

**問** 平成29年度から10年を期間とする観光振興計画を策定したが内容はどうか。

**答** 知立には全国的に有名なものはないが、観光交流センターと観光協会の2本柱で観光を推進していくためにつくった。

**問** 計画は地域経済の活性化及び雇用拡大を目的に、観光客数を現在の180万人を400万人に、経済効果43億円を200億円と掲げているが過大な目標ではないか。

**答** 夢のある目標、新たな事業を展開して目標に近づきたい。

**問** 4月オープンした観光交流センターは、利用者数を年間1万人としていたが実績はどうか。

**答** 5か月間で1千234人、1日平均11.2人、想定より低く苦戦しているのが現状。

**問** この状況が続くならば市民から批判の声がでると思うが。

**答** 少しずつ充実している。ちりゅっぴに定期的に会えるとか、いろんな方策をしながらしっかりと運営したい。



逢妻保育園



富士塚ちびっ子広場(山屋敷町)

## 防災について

市政会 石川智子議員



防災訓練の様子

化事業の実証事業実施団体として愛知県が選定されたが、連携など検討しているか。

**答** 災害対策本部を支援するシステムで、本市においても実施計画に計上できるように、現在、予算を要求しているところ。

**問** 避難所生活の中で、高齢者や女性、乳幼児などへの配慮はとでも重要。女性の視点を取り入れていく取り組みは。

**答** 避難所運営に女性の参画が必要。主体的に避難所運営に取り組んでほしいが、女性リーダーの不足が課題。今後、自主防災会にも話を聞いていく。加えて、防災士会を立ち上げる計画があり、女性の意見を取り入れ、災害体制を整えていきたい。

**問** 防災訓練の現状は。

**答** 昨年度より、シナリオのない避難所運営訓練を実施。市民が避難所運営を自ら考え進める形をとり、この訓練を通し改善点などの意見を、今後生かしていきたい。



**問** 今年は異常気象により気温30度以上の真夏日が87日間観測された。過去最多を記録し40度を超える日もあり、猛暑の夏であった。このような状況の中、エアコンが設置されていない教室で授業をする児童生徒は勉強に集中できないどころか熱中症

も心配された。そこで、今後知立市がエアコンを設置するに当たり、取り付け工事はいつから行われ、全て完了する時期はいつごろなのか。

**答** 平成31年度中に設置完了ができるよう計画を進めている。

**問** 登下校の子どもたちや市民生活の安心安全を確保するといった観点から、知立市の全小中学校区内における通学路に面した危険なブロック塀について安全点検は実施しているのか。

**答** 各市町村において重点対策区域を設定し、危険なブロック塀を減らすことを目標として、安全点検に係るパトロールを実施した。

**問** 知立市に設置されている小中学校の遊具の安全点検はしているのか。

**答** 2〜3か月に1回行っている。各校に設置している全ての遊具の現況写真、及び遊具各部の点検結果を提出させ確認している。

## 子ども達の学び環境改善について

立志会 神谷定雄議員



## 三河知立駅移設について 学校エアコン設置について

市政会 山田圭議員



**問** 三河知立駅移設の進捗状況について、そしてこれからの流れについてはどうか。

**答** 用地買収や移転補償、駅前広場に当たる竜北中学校グラウンドの再配置工事、ロータリー整備などを進め2020～21年度に供用開始を予定。現在の駅利用者数は1日700～800人と聞いているが隣駅との間隔のバランスが良くなり、利用者が2倍～3倍程度に増えると予想している。防犯灯・防犯カメラの設置は総合的に取り組んでいきたい。

**問** 平成31年度中にエアコン設置を表明したが、進捗状況・決意は。

**答** 設置費を計算したところ、工事費で7億円、電気代で2千500万円の増加が予想される。電気だけではなく、ガスの有効活用も検討する中、学校施設環境改善交付金が受けられるように進めていきたい。子どもたちが本来のびのびと快適に学校生活

を送る環境をつくることは責任があると考えている。市長・市の職員一同、市民の大切な税金を使っていることをふまえながら平成31年度中、できるだけ早く設置したい。



## 児童虐待の予防対策と 高齢社会の課題について

立志会 高木千恵子議員



**問** 児童虐待の相談や通報を受ける児童相談所は全国に210か所。昨年度の虐待等相談件数は全国で約13万人で過去最多。平成28年度知立市児童虐待件数は78件あった。虐待件数の公表を。

**答** 虐待予防のため、児童虐待件数など公表を考えていく。

**問** 知立市虐待等防止ネットワーク協議会実務者会議が毎月実施されている。協議対象は。

**答** 学校、保育等の関係者により、要保護者、要支援者、特定妊婦など、個別の現状を検討。

**問** 保育園等で児童虐待発見時の注意点と流れは。

**答** 身体的虐待発見時、写真撮影し、市家庭児童相談室が対応。

**問** 児童虐待未然防止の対策は。

**答** 市家庭児童相談室に正規職員を配置し相談体制の充実。

**問** 地域包括ケアシステム構築とは何か。分かりやすくすべき。

**答** 地域共生社会であり、地域のことを自分のことと考える社会。

**問** 高齢者虐待の発見時や高齢者の相談は、長寿介護課と福祉協議会の地域包括支援センターの連携で支援。地域包括支援センターの名称を「なじみのある相談窓口」とするために、

**答** 名称変更をすべきでは。

**答** 知立市地域包括支援センターの名称は高齢者の60%以上が認知と思う。変更予定はない。

